

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	日ノ岡グループホーム
(ユニット名)	なの花の家
所在地 (県・市町村名)	静岡県湖西市岡崎2254-2
記入者名 (管理者)	山本利尚
記入日	平成 20年 4月 28日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念			
	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設時より、理念を掲げサービス向上に努めている。職員には、常に理念に基づいたケアを目指すよう指導している。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
	○理念の共有と日々の取り組み			
2	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を掲げ常に個々の処遇に生かせるよう努めている。管理者も宿直として週1回程度は入り、夜勤職員の個別レクチャーの機会としたり、月1回の職員会議でも介護の姿勢、心構え等を第一として指導している。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
3	○家族や地域への理念の浸透			
	事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	毎月のホーム便り、併設デイでの介護教室イベント等で取り組んでいる。市の認知症サポーター養成講座への協力もしている。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい			
	管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	犬の散歩や、歩行訓練かねた散歩等で地域の方にこえかけいつでもホームによって頂けるように努めている。犬を連れホームによってくれる方も増えてきている。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
5	○地域とのつきあい			
	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会との連絡も密にしつつ、祭りや学校行事へ参加したり、ホームの夏祭りに地域の方招待したり交流に努めている。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	毎月の介護教室イベント等実施しつつ、いつでも介護相談受けられるような体制をとって広報している。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	内部研修にて意義等徹底し職員全員にも自己評価してもらい、評価を生かしていけるよう取り組んでいる。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	施設の運営状況の報告や、実地指導の報告もしつつ意見を伺い施設サービスの向上に生かしている。	○	今後も参加者の枠を広げて行けるよう努めいろいろな意見を聞いていける機会を持てるように努める。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	毎月市長寿介護課を訪問し、状況報告するとともに介護教室の案内チラシを置いてもらったり、意見交換もしている。又施設長がキャラバンメイトとして市と協力し認知症サポーター養成講座の講師もしている。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	内部研修や市の研修に参加し学ぶとともに、必要な方への情報提供できるよう、地域包括とも連絡取りながら努めている。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修実施し、周知徹底している。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	折に触れ家族会での広報や、個別の相談も受けつつ十分な説明理解を求めている努力をしている。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口も受け説明するとともに県や市の窓口も紹介している。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月のホーム便りに個別のコメント入れたり面会時に近況説明したり、状態に変化あればすぐ連絡相談し対応している。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会等で意見を聞いたり個別にもいつでも相談受けられること広報し対応に努めている。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	常に職員と意見交換しつつサービス向上に努めている。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	柔軟な勤務調整にて、必要な対応がとれるようしている。行事やイベントに応じ、出勤数等調整している。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	全職員を正規雇用することでサービス向上、利用者との人間関係作りを大切にしている。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者と日報にて情報意見交換しつつ、毎週管理者との施設での食事会兼ね意見交換したりしつつ研修の機会確保にも努めてくれている。	○ 今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の事業者連絡会、県のグループホーム協会、全国グループホーム協会へも加盟し情報収集やサービス向上に努めている。	○ 今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	法人としての親睦会や、交流会とともに現場を見て意見交換や、意見箱の設置等にて職員把握に努めてくれストレス軽減等にも努めていく。	○ 今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	管理者と日報にて情報意見交換しつつ、毎週管理者との施設での食事会兼ね意見交換したりしつつ努めてくれている。	○ 今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談があればすぐ自宅を訪問し面談することを原則としつつ状況把握し、必要に応じてデイの体験利用や、体験入所も実施できること説明し受け入れの努力している。	○ 今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居相談の中で、家族の状況や希望を良く聞くとともに施設として出来ること目指していることもよく説明し理解を頂ける様努めている。	○ 今後もよりいっそうのサービス向上に努める。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要に応じて他のサービスの活用等も紹介している。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	必要に応じてデイの体験利用や、体験入所も実施できること説明し受け入れの努力している。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	出来ることや持っている能力を引き出せるよう常に声掛けし、寄り添いすごしつつ学びあえる関係作りを大切にしている。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	常に家族にも状況報告しながら一緒に利用者を支援していく立場として協力を求めながら介護する努力をしている。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族から過去の生活状況や、家族関係の様子等情報収集し家族関係作りの支援もしている。家族会や、ホーム行事への参加呼びかけ等している。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	かかりつけ医、墓参り、行き着けの理美容店、友人宅への訪問、地元の祭り等への参加をできる限り支援に努めている。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の人間関係を見つつ、穏やかに暮らせるよう席割や生活活動の役割分担等柔軟に行っている。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退居後も必要に応じて連絡を取ったり、挨拶をしたりしている。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人、家族含めて、希望や以降今までの暮らしぶり等の情報収集に努めその人らしい暮らしが出来るよう支援している。	○	今後もよりいっそうのケアプランの充実に努める。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、又入居後も本人家族より情報収集に努めている。面会に来てくれた家族以外の友人知人等からも昔の暮らしぶり等伺うよう努めている。	○	今後もよりいっそうのケアプランの充実に努める。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	個々にいろいろな生活活動への参加促す中で、状況把握に努めている。センター方式アセスメント情報の追加に努めている。	○	今後もよりいっそうのケアプランの充実に努める。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	幅広く情報収集の努力をして介護計画に反映できるようにしている。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	記録上での計画変更はやや遅れ気味であるが、個々の状態変化は職員間で細かく申し送りし介護状況に反映させることが出来るようしている。	○	今後もよりいっそうの記録技術の向上に努めると共に介護計画の内容充実に努める。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録を個別に毎日残し、状態を申し送りしながら日々のケアに生かすとともに介護計画の見直しに生かしている。	○	今後もよりいっそうの記録技術の向上に努める。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	施設の持てる能力を生かしつつ、状況に応じた柔軟な対応に努めている。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	社協や個人含めボランティア等は積極的に受け入れている。市の敬老行事への参加も支援している。市の民生委員にも見学に来てもらっている。小学校幼稚園の運動会見学にも参加させていただいている。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	併設のデイサービスとの合同イベントや、個別の参加交流等している。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努め、市内の他事業者とも交流できるようしていきたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	個別に必要な事情ある方は、地域包括と連絡取りながら経過観察している。(虐待や、将来的な経済困難の恐れの方)	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望のかかりつけ医への受診介助するとともに、必要に応じて専門的な医療機関の紹介もしつつ医療支援している。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。何とか早期に往診できる医師の確保が出来ればと考えている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	精神科医や、認知症外来をしている医師とも連絡相談しつつケアに生かしている。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	施設長が看護師、他1名も介護職として看護師を常勤職員として配置して支援している。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院した病院へは、すぐに介護経過記録等添えて申し送ると共に入院中はお見舞いがてら家族等から状況報告受け退院後のケアに生かせるよう対応している。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時より、終末期の対応については、よく相談し意思確認すると共に状況に変化あるごとに連絡を密にしつつ希望を伺い対応している。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	かかりつけ医とよく相談し、家族の希望も伺いつつ協力関係の中で支援している。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	良く情報交換しつつ支援している。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	何よりも個々の尊厳、プライバシーの配慮を第一にケアするよう努めている。	○ 今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	個々の能力に応じた対応に配慮しつつ希望に沿ったケアでできるよう努めている。	○ 今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個別のペースに合わせたケアが出来るよう努めている。	○ 今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	希望の理美容室にいけるよう個別対応にて支援している。現在6軒の理美容室に希望に応じ支援している。	○ 今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	朝夕食と昼食週2回をホームにて作っている。利用者の希望も聞きつつ献立を立てたり味付けもしている。	○ 6月よりは、すべての食事を施設で作っていく方向で準備中。又月2回程度の外食支援も維持していきたい。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒飲む方、たばこ吸う方、おやつの嗜好等個々に支援している。	○ 今後もよりいっそうのサービス向上に努める。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄記録取りつつ自立支援や、失禁ケア、保清等を支援している。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	最低一日おきを原則として、希望に応じた支援をしている。介助のほとんど要らない方なら、夜間入浴や、毎日の入浴にも対応している。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	入眠時間や起床時間も一応日課はあるものの状況や、希望に応じ柔軟に対応している。睡眠状態も良く観察しつつ個別対応で昼寝を勧めたり、活動性を支援したりしている。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個別の生活歴や、趣味に応じた活動支援に努めている。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望や能力に応じて家族の協力の下、ある程度の小使いを持ってもらい自由に使って頂ける機会も持ちつつ支援している。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出、散歩、買い物等個別に声掛け多くし外に出る機会を多くもてるよう支援している。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族の協力や了解の下、墓参りや、友人宅、親戚の訪問等も希望に応じ支援している。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話も希望に応じ使って頂けるよう家族の協力もいただきながら支援している。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも面会は自由にして頂けるよう支援している。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	開設時より、身体拘束廃止の徹底をしている。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	開設時より、当たり前のこととして徹底している。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	危険のある方は特に注意しつつ、所在や様子の把握に努めている。	○	今後もよりいっそうの安全確保に努める。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	出来るだけ家庭に近い環境を維持しつつ安全に配慮し支援している。	○	現状問題はないが、今後の危険性も配慮し対策を検討していく。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	個々の状態における危険性や注意点を把握してもらい、経過観察できるよう常に指示指導している。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	内部研修として急変時対応等の勉強会もしつつ支援している。	○	今年は消防署の協力の元救急法の勉強会も実施したいと考えている。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練等実施しているが、地域への協力要請は声掛け程度はしているが、具体的な対策までは出来ていない。	○	今後は、運営推進会議等で自治会とうして具体的な協力体制も検討していく。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	急変やリスクの説明は状態の変化等に応じてその都度家族と相談しつつ対応している。	○	今後もよりいっそうの家族との意思疎通が密となるように努める。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調の変化や、異変の早期発見には、常に看護師の誰かに相談連絡するようにし家族連絡も取りつつ早めの受診等心がけている。	○	より勉強会を充実させ健康管理や、早期発見適切な対応が出来るよう努める。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の投薬内容をまとめたファイルを作り、常に職員が確認しつつ介助できるようにしている。	○	誤薬のゼロを目指しつつ、今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘対策も個別に応じ状態を似つつ運動から服薬まで看護師と相談しつつすすめている。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	状態に応じた口腔ケアを実施している。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	介護記録でチェックしつつ、個々の必要に応じた支援をしている。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染予防のマニュアルも用意し勉強会もしつつ、手洗いうがい等の必要性等徹底し支援している。	○	職員個々の健康管理も含め感染予防対策を徹底していく。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日の食材買出し、冷蔵庫のあまり物をチェックと活用等しつつ、食材の安全管理や調理器具の衛生管理に努めている。	○	食中毒等のない様今後も十分注意していく。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	花壇を設けたり畑を作ったり、玄関外にもベンチもうけたり、犬を飼う等しながら雰囲気作りをしている。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常に季節感に配慮しつつ生活空間作りに努めていつ。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個々のペースでくつろげるよう空間作りにも配慮している。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個別性に配慮し自由な使い方が出来るよう支援している。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気や室内温度の調節には季節に応じた配慮して、快適に過ごせるようしている。	○	今後もよりいっそうのサービス向上に努める。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	浴室、トイレの手すりや、バリアフリーに配慮し自立支援に向けた対応等している。	○	身体状況の変化に応じた設備の検討も含めサービス向上に努める。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	表示や、夜間の点灯、根気良く繰り返す一貫した対応等個々の状態に応じたケアにて、場所や動作の認識等を支援している。	○	今後もよりいっそうの個別対応向上に努める。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	花壇や、畑を配置、犬を飼う等広い敷地で散歩や運動もしやすくし屋外でもゆったり過ごせるよう工夫している。	○	今後もより環境の工夫によるサービスの向上に努める。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

併設デイサービスを会場に毎月介護教室イベントの実施、施設長がキャラバンメイトとして市との協力で認知症サポーター養成講座の講師を努めるなど、地域への情報発信に務めています。施設の夏祭には、ボランティア含め200名をこえる方が集まって頂き地域に溶け込んでいける様努めています。天気の良い日は、毎日のように犬の散歩や歩行訓練かねた散歩で周辺住宅街を歩き地域の方に挨拶したり、毎日のスーパーへの買出しで常連客となったりして地域に密着した施設となるよう努めています。又家族会には毎回8割ぐらいの出席も頂いており、秋の一泊旅行でも半数の家族の参加をいただく等いい信頼関係の中で運営させて頂いています。